

# 金美齡名誉理事長に「旭日小綬章」 日本語普及と日本文化普及で

秋の叙勲で、金美齡名誉理事長が旭日小綬章を受章しました。11月3日に発令され、15日に外務省で勲章伝達式、皇居で天皇陛下下拝謁が行われました。

日本語普及功勞と日本文化普及功勞による叙勲です。叙勲推薦にあたった外務省によれば、これらの理由による叙勲は、これまで海外の日本語学校や、国内の大学等の理事長に例はあっても、国内の日本語学校関係者では初めてではないかとのことです。

金先生は1988年に副校長・理事として、学校法人柴永国際学園 JET 日本語学校の創立に加わり、以後校長として1989年から2000年までの11年間を務め、専務理事として5年間、理事長として通算12年間にわたり日本語教育および日本文化普及のために尽力してきました。名誉理事長となった2014年には、東京都から教育功勞者として表彰されています。(4面に関連記事)



## 金先生受章のことは

JET 日本語学校は定員150名という小さな学校ですが、これまで山あり谷ありの30年間でした。苦しい時も、後援会の皆様や関係者の皆様に支えられながら、ひたすら愚直に信念を貫き通してきました。

今回の榮譽は、30年間JET日本語学校で日本語教育に携わった教職員、支えてくださった全ての人々が授かったものです。そしてこの喜びを、卒業生、在校生とともに分かち合いたいと思います。

創立30周年という節目の年に勲章を賜り、越野理事長、井上校長をはじめ若い人たちにしっかりとバトンを手渡すことができ私は幸せです。今後も教職員一人ひとりが一層の精進を重ね、より質の高い日本語教育に取り組んでゆくことを期待しています。



勲章とともに授与される勲記。「日本国天皇は金美齡に旭日小綬章を授与する 皇居において璽(じ)をおさせると記されています。「璽」とは中央の天皇の印鑑のこと。大きさは595×420mmです。

## 高木啓副理事長が衆議院初当選

10月22日に行われた衆議院議員選で、当校の高木啓副理事長が当選を果たしました。自民党の比例代表(東京ブロック)からの当選です。北区議を10年、東京都議を12年務め、初めて国政に臨みます。JETの理事には2006年に就任。



11月1日、初登院で首班指名選挙を済ませ、夕方JETでの定例会議に出席した高木副理事長(左)。教職員からは、国の日本語教育政策を正しい方向にリードしてほしいという強い期待が寄せられました。右は越野充博理事長。

## 10月生49名入学

### 8クラス145名で新学期

9月28日にクラス分けのテスト、29日に入学式が行われ、10月2日から新学期が始まりました。今学期迎えた新入生は49名です。

日本で大学院を修了した学生も2名入学しました。大学院では英語で授業を受けていたので、日本語の勉強はこれまできちんとしたことがなかったそうです。将来就職のことも考え、この際日本でしっかり日本語をものにしたいということです。

10月現在の国籍分布は、台湾が60%、インドネシアが20%、マレーシアが6%、タイが6%、香港が4%、その他が4%です。



しっかりした日本語で新入生歓迎の挨拶をする先輩たち。

## 湯河原のホームステイプログラム30周年

11月11日、ゆがわら国際交流協会30周年祝賀会に参加しました。JETからはこれまで200人以上の学生がホームステイでお世話になっています。ホームステイ終了後も長年にわたって交流が続いており、ホストファミリーの方々からは懐かしい卒業生の話がたくさん出ました。早藤義則会長いわく「湯河原町の財産は人」。日本人、外国人ともに住みやすい町を目指して発展中とのことです。(得猪節子)



右から3番目がゆがわら国際交流協会の早藤義則会長。左から3番目は葉維英さん(中国・90年JET卒)。葉さんは第4回「やさ国際交流プログラム」に参加しました。JETを卒業後、東京理科大学大学院を修了し、現在は日本と上海でいろいろな事業を手掛けています。左端は得猪先生。

## 祝合格 (11月17日現在)

### 【大学院】

- ☆應婉柔(台湾) 文化ファッション大学院大学 ファッションビジネス研究科 ファッションマネジメント専攻 修士課程
- ☆柯伯叡(台湾) 東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 研究生
- ☆Nuttapon Kumsanlas (タイ・2014卒) 国立金沢大学大学院 自然科学研究科 環境デザイン学専攻 博士前期課程

### 【大学】

- ☆Ferdinand Aldi Wirawan Ibrahim (インドネシア) 武蔵野大学 工学部 建築デザイン学科
- ☆Lin Frank (アメリカ) 同志社大学 商学部 商学科
- ☆陳禾家(台湾) 同志社大学 商学部 商学科
- ☆彭鵬文(台湾) 東京経済大学 経済学部
- ☆趙悦婷(香港) 早稲田大学 スポーツ科学部 スポーツ科学科
- ☆李華葦(香港) 洗足学園音楽大学 音楽学部 音楽音響デザインコース
- ☆朴庸準(韓国) 拓殖大学 商学部 国際ビジネス学科

### 【専門学校】

- ☆沈宗怡(台湾) 日本菓子専門学校 製菓技術学科
- ☆許世閔(台湾) 日本菓子専門学校 製菓技術学科
- ☆Felia Tanri (インドネシア・2017.9卒) 東京デザイナー学院 マンガ科
- ☆簡郡萱(台湾) 東京デザイナー学院 イラストレーション科
- ☆陳俐心(台湾) 東京製菓学校 洋菓子本科

## 学習奨励費の追加受給決定

陳志軒さん(台湾)が今年度10月から半年間、文部科学省からの学習奨励費を受給できることになりました。

これで今年度の奨学金受給者は全部で5名になりました。(学習奨励費3名、高山国際教育財団奨学生2名)

## パンはいかが？

今年4月に東京調理製菓専門学校に進学したジュンさん(タイ・写真前列中央)が、夕方になると、その日に実習で作ったいろいろなパンやケーキを差し入れに来てくれます。日に日に腕をあげて、おいしくなっていくのがわかります。



## 雨の、鎌倉遠足 ( ; ∇ ; )

10月13日は、全校で鎌倉に遠足。北鎌倉駅から源氏山へのハイキングコースをたどり、銭洗い弁天、大仏を拝んだ後、湘南の海を見に行くという新しいルートを予定していましたが、思わぬ雨。JETの遠足はこの何年間か、「晴れ女」山口先生のパワーで、天気にも恵まれていたのですが、ついに記録が途絶えることとなりました。

少雨決行ということで、寺巡りコースに変更することにしました。が、途中からかなり雨脚が強くなり、建長寺を拝観した後、鶴岡八幡宮まで歩いて解散ということになりました。

皆で弁当を広げる場所もなく、残念な一日となってしまいました。来年は晴れますように・・・



雨でも元気。建長寺の境内で。

## ア ク テ イ ウ イ テ イ

### ○10月14日 北区花火会

遠足の翌日、まだ小雨の残る天候でしたが、北区花火会が行われ、越野理事長などの招待により約40名が「秋の花火大会」を鑑賞しました。

### ○10月15日 板橋区主催のホームビジット

板橋区内の一般家庭におじゃまして、日帰りで日本人の生活を体験しました。2名が参加しました。

### ○10月27日 芝浦工大でハロウィンパーティー

東大宮のキャンパスで行われた大学生主催のパーティーに3名が参加。JETの先輩ワーリットさん(タイ・2017卒)が案内してくれました。

### ○11月15日 わせだの森

早稲田大学大学院日本語教育研究科の有志が主催している交流会です。今回JETから11名参加したのに対し、日本人が2名しかおらず、ちょっと期待外れだったようです。

## 学 校 日 誌

○10月25日 JLPT 模擬試験

○10月24日 寮生ミーティング

○11月9日 学校のベランダに鳩除けネット設置

○11月8日、13日、17日 北区保健所でレントゲン健診

○10月16日～ 来年4月からの進学1年コース出願者にスカイプで面接試験

○11月10日 専門学校進学希望者のための面接講座

○11月17日 大忘年会の第1回スタッフ会議

## 2017年度後期の就職セミナー

10月16日に井上校長が、来春の就職希望者8名にガイダンスを行ない、留学生の就職状況、日本の企業の特徴、就職活動の方法などについて講義を行ないました。

11月1日は、横山利愛先生が「自己分析」についての授業を行ない、11月14日には(株)オリジネーターの松井秀子氏をお迎えし、面接練習を行ないました。

12月5日には、企業経営者との意見交換会を予定しています。また、12月18日にはJETの先輩を迎え、就職体験談を語ってもらう予定です。

## 教育実習生3名受入れ

学習院大学の田口佳代子さんと越田涼介さんは、10月16日から10月27日の2週間にわたり、授業見学、ティーチングアシスタント、教務補助などを行ないました。26日と27日には、初級クラスでそれぞれ1時間ずつ教壇実習も行ないました。

目白大学の金田采子さんは10月10日～12月中旬までの毎週火曜日、同様の教育実習を行なっています。

## 2017年度後期「日本事情」に角南先生初登場!

★「歌えラララ」(荻原まき先生)

①11/24～1/12 ②1/26～2/23

★「留学生生活日記」(岡田亜子先生) 1/12～2/9

★「みずきの電子郵便屋さん」(角南瑞樹先生)

①1/25～2/22 ②1/30～2/27

## ≫JET この30年≪

### ビザ申請数と許可率

1988年度から2017年度の入学のために、本校から入国管理局に留学(就学)ビザの申請を行った数は、33の国と地域から3592件に上りました。

国別では台湾が1277件と最も多く、次いで中国(大陸)が1009件、韓国が798件となっています。

通算の許可率(在留資格認定証明書の交付率)は、台湾、韓国が同じく98%、中国が52%です。

2011年4月期以降は全ての国籍で100%の許可率を保っていますが、「日本語学校冬の時代」と言われた1990年代は入管の審査が厳しく、不法滞在などの問題が多かった中国だけでなく、滞在経費支弁に問題のない台湾などの学生も、毎年数名が不許可になったことがありました。

なお、中国からの学生の申請は、1995年以降各期とも数件以内にとどめ、2004年10月期以降は全く行っていません。

# 写真でふりかえる金美齢、この30年



↑開校式(1988年)  
創立1周年(右は沖永嘉計理事長、左は柴田邦夫学園長)→



↑校舎の5階で卒業式

「上海事件」で上海市と朝日新聞に対し抗議の記者会見。(1990年)↓



↑自宅に学生を招き、本当に美味しい料理でパーティー



## コメンテーターとしてテレビ出演



「たけしのTVタックル」(上)、「波乱万丈」(右上)、「朝まで生テレビ」(右)



←日本語教師養成講座で公開授業(2003年)



↑クールジャパン推進会議で安倍首相と。(2013年)

# 金美齢叙勲随行記

井上靖夫 (校長)

11月15日は、叙勲の日に対応しい穏やかな天気にも恵まれました。私は、この日執り行われる一連の儀式に随行させていただきました。

午後1時15分。まず、外務省内で勲章の伝達式です。配偶者とともに前に進み出て、河野太郎外務大臣から勲章と勲記を授与されました。大臣の祝辞には、受勲者の功労を讃えるだけでなく、家族へのねぎらいがありました。

今回、外務省推薦で受章された方は約30名。各国大使などを歴任された錚々たる顔ぶれでした。

日本語普及の功績で受章された西原鈴子先生(元国際交流基金日本語国際センター所長)は、金先生と隣合わせの席でした。

勲章を着用し、皆さんバスで皇居へ。豊明殿で天皇陛下の拝謁を賜ります。宮殿の中へは配偶者以外同行を許されませんので、私はバス内で待機です。

受勲者は総勢4000名以上、配偶者を合わせると8000名以上もいらっしゃるの、何グループかに分けて拝謁が行なわれました。

外務省関係のグループでは、西原鈴子先生が代表で陛下に謝辞を述べられました。日本語教育の分野で活躍する先生が、このような大役を務められることを、私はたいへん誇らしく思いました。

行きは坂下門から入りましたが、帰りは紅葉の始まった皇居内をバスでゆっくり回り、乾門から退出しました。午後5時ころ、再び外務省にもどり、陛下からの賜物(菊の御紋入りどら焼き)をいただいてそれぞれ帰途に着きました。

待ち時間の多い、長い一日でしたが、無事に終わりほっと一息です。夜、金先生と二人、新宿の「つな八」でささやかに祝賀会。おいしいビールと天ぷらをいただきながら、学校のこれまでの30年間の歴史を振り返りました。



皇居から外務省にもどり、ロビーで。